

# 鳥大附小の魅力紹介

2020 vol. 1

## 附小のコロナ対応

鳥取大学附属小学校で行われているさまざまな魅力いっぱいの取組をご紹介します！

本年度の第1回目は、昨年度末より猛威を振るっている**新型コロナウイルスへの本校の対応**についてです。

新型コロナウイルスでは、世界的にたくさんの方が感染し被害にあわれていることに、たいへん心を痛めております。それとともに、細心の注意を払って学校運営に当たっていることは、改めて申し上げるまでもありません。他方で、長期的な対応や新しい生活スタイルの模索が求められているなかで、附属小学校でのこの間の取組をご紹介しますと思います。それが「魅力」なのか、と誤解を生むかも知れませんが、保護者のご協力などによりその影響を最小限に抑える工夫をしています。

本校は公立小学校と異なり、1時間圏内を通学範囲としており、倉吉市や八頭町から通学する子供もいます。バスやJRを使って通学する子供が多く、県内での発生を受けて直ちに**保護者によるクルマでの送迎**を許可しました。公共交通を利用していただいていたほとんどの子供が保護者に送迎していただき、安心して登下校することができました。

休業などの判断も県・市の教育委員会の判断を参考にしながらも、附属学校園での独自の判断も求められています。附属の4校園での慎重な議論に加え、全国の国立大学附属学校園の連合会事務局に依頼し、感染防止の取組や休業判断の基準など、**全国の附属学校園との情報交換**をし、その参考にしました。

子供や保護者の参加するさまざまな行事でその実施が難しい状況となっていますが、修学旅行の実施時期の延期や運動会の内容の再検討など、最大限に「大人の知恵」を働かせて**子供たちの楽しみを減らさない努力**を続けています。とはいえ、子供の安全が最優先であることに変わりはなく、その両立を模索しながら最善を尽くしています。

また本学医学部が中心になって開発した**フェイスシールド“ORIGAMI”の子供版の試作**に協力し、夏に向けて、子供に負担の少ない授業を受けて貰えたらと思っています。いくつかの改善点はありましたが、子供たちにはおおむね好評で、子供版の完成が楽しみです。

今後の動向にも注視しながら関係者の知恵を総動員して、**安全かつ楽しい新しい学校生活のスタイル**を創りあげていきたいと思っています。

